

独立歩兵第一六七大隊（拠第一〇六二五部隊）

年月日	略歴
昭和一七 三 一五	中部第三七部隊編成完結（京都）
三 一三	門司出發
四 五	比島ルソン島リンガエン上陸
四 下旬	マニラ着
五 五	オロンガホ出發
五 下旬	ミンダナオ島カガヤン上陸
	同地警備
一九 七	軍令により独立歩兵第一六七大隊編成改正下令
七 一〇	編成完結（比島ダバオ）
八 一四	捷一号作戦準備及捷一号作戦
八 一五	停戦
九 二	終戦

（注）終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。  
 隊長 中佐 吉山 徳雄

独立歩兵第一六八大隊（拠第一〇六三八部隊）

年月日 略 歴

昭和一八二二七 中部第二部隊編成完結（名古屋）

一二二五 門司出港

一九二六 ミンダナオ島カガヤン上陸

至自 七三 同地付近の警備

軍令により独立歩兵第一六八大隊編成改正下令

編成完結

捷一号作戦準備及び捷一号作戦

停戦

終戦

（注）終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ爾後各個に復員する。

隊長 大佐 片桐 広一

独立歩兵第三五二大隊（拠第一〇六三九部隊）

年月日	略歴
昭和一九五〇	東部第六二部隊に於て仮編成
五二三	屯営出發
五二九	門司港出帆
六二	台湾東海岸火燒島燈台付近に於て敵潜水艦の魚雷攻撃を受け船尾損傷
六三	基隆に曳航さる。
六九	基隆出帆
六一七	比島マニラ港着
六一七	マニラ市リザール球場に於て飛行場設定作業援助
七二七	軍令により独立歩兵第三五二大隊編成改正下令
七一〇	編成完結（マニラ）
七二八	マニラ港出帆
八三	ミンダナオ島カガヤン上陸
八二四	ミンダナオ島オリエンタル州デルモンテに於て飛行場設定作業援助
八一三	行軍を以てダバオに向い出發

至自 至自  
〃〃 二〇

九 八 八四 四八  
二 一五 四〇 九八

ダバオ市トリルに到着爾後カルタナン、タロモ付近に於て陣地構築並に警備  
ミンダオ島附近の戦斗に参加

停 戦  
終 戦

(注) 終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ爾後各個に復員する。

大隊長 少佐 竹 下 兼 雄

第百師団通信隊（拠第一〇六二六部隊）

年月日	略歴
昭和一九七〇年七月一〇日	軍令により第百師団通信隊編成下令
昭和一九七〇年七月一四日	編成完結（比島ミンダナオ島ダバオ）
昭和一九七〇年八月五日	捷一号作戦準備及び捷一号作戦参加
昭和一九七〇年八月二九日	停戦
昭和一九七〇年九月二日	終戦

（注）終戦後米軍の収容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。

隊長 大尉 橋 精

第百師団砲兵隊（拠第一〇六四九部隊）

年月日

略

歴

昭和一九七

軍令により第百師団砲兵隊編成下令

七〇

編成完結（比島ミンダナオ島ダバオ）

自二〇八七

捷一号作戦準備及び捷一号作戦

八一五

停戦

九二

終戦

（注）終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。  
隊長 少佐 中井 一雄

第百師団工兵隊（拠第一〇六八三部隊）

年 月 日

略 歴

昭和一九 七

軍令により第百師団工兵隊編成下令

七 一〇

編成完結（比島ミンダナオ島タバオ）

自 二〇

捷一号作戦準備及び捷一号作戦参加

八 一四

停 戦

九 二

終 戦

（注）終戦後米軍の収容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。

隊長 中佐 白井 茂

昭和一九七〇	年 月 日	第百師団輜重隊（扱第一〇六八四部隊）	
		略 歴	
至 二〇	七	軍令により第百師団輜重隊編成下令	
自 八七	一〇	編成完結（比島マニラ）	
八五		捷一号作戦準備及び捷一号作戦参加	
九二		停戦	
		終戦	
<p>（注）終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。</p>			



独立歩兵第一六三大隊（拠第一〇六二一部隊）

昭和一七	年	月	日	略	歴
至自	三	三	三	編成（名古屋）	
至自	四	三	三	門司出港	
至自	五	七	三	第二次バタアン攻略	
至自	六	二	三	ミンダナオ島戡定作戦	
至自	一	二	三	比島全島戡定作戦	
至自	二	七	三	比島全島第二期戡定作戦	
至自	二	三	三	比島全島肅正討伐	
至自	三	三	三	軍令により独立歩兵第一六三大隊編成改正下令	
至自	三	三	三	編成完結（比島ミンダナオ島ダバオ）	
至自	六	一	三	比島全島第二期肅正討伐	
至自	七	〇	三	比島全島第三期肅正討伐	
至自	〇	〇	三	捷号作戦参加	
至自	四	〇	三	デコス地区の戦闘参加	
至自	五	四	三	ダバオ地区の戦闘参加	
至自	八	五	三		

八  
一  
五  
停  
戦

九  
二  
終  
戦

(注) 終戦後米軍の収容所に入ると同時に解隊させられ爾後各個に復員する。  
隊長 大佐 志 鶴 林 蔵

独立歩兵第一六四大隊（拠第一〇六二二部隊）

年月日	略歴
昭和一七 二 三	静岡歩兵第三四連隊補充隊臨時編成（名古屋） 門司出港
四 二〇	比島セブ島上陸
一 八 五	同島攻略戦に参加 ミンダナオ島カガヤン上陸 西ミサミス州ザンボアンガ州の警備並に討伐作戦に参加
二 二 一 五	軍令陸甲第一〇六号により独立歩兵第一六四大隊編成改正下令
二 三 一	編成完結（比島ミンダナオ島ダバオ）
八 七 一 四	捷一号作戦準備及び捷一号作戦
八 一 五	停戦
九 二	終戦

（注）終戦後米軍の収容所に入ると同時に解隊させられ爾後各個に復員する。

隊長 中佐 田中 徳宝

独立歩兵第一六五大隊（拠第一〇六二三部隊）

年月日	略歴
昭和二七 二二三	独立守備歩兵第三三大隊編成完結（岐阜）
三	門司港出帆
四	比島バナイ島上陸
至自 一八 二二四 二六六	比島バナイ島警備討伐
一九 一一三 一一一	軍令により独立歩兵第一六五大隊編成改正下令
至自 一五 一一六	編成完結（比島ミンダナオ島ダバオ）
至自 一六 一一三	比島ミンダナオ島北部警備討伐
至自 一六 一一一	比島ミンダナオ島ブキドノン州警備討伐
至自 一六 一一〇	比島ミンダナオ島ダバオ地区警備討伐
至自 一五 一〇六	比島ミンダナオ島ダバオ地区戦闘参加
八 一四	停戦
八 一五	終戦
九 二	<p>（注）終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。</p> <p>大隊長 中佐 多賀 寛助</p>

独立歩兵第一六六大隊

年 月 日	略 歴
昭和一七 二一四	独立守備歩兵第三四大隊編成下令
二二三	編成完結(名古屋)
三二四	守品港出帆
四三	比島リンガエン上陸
八一 一六	軍令陸甲第一〇六号陸軍機密第四五〇号により独立歩兵第一六六大隊編成改正下令
一二三	編成完結(比島ミンダナオ島)
八七 一四	捷一号作戦準備及び捷一号作戦参加
八一五	停戦
九二	終戦

(注) 終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。  
隊長 中佐 内匠 豊

第七六旅団通信隊（拠第一〇六四七部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一九七八	軍令陸甲第六三号により第七六旅団通信隊編成改正下令
一九七〇	編成完結（比島ダバオ）
自一九七八	捷一号作戦準備及び捷一号作戦
至二〇〇九	停戦
二〇〇九	終戦
<p>（注）終戦後米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ爾後各個に復員する。            隊長 大尉 松田克己</p>	

		年 月 日		第百五師団工兵隊（勤第一〇六〇八部隊）
		昭和一九七 七	七 一〇	
至自		九 二	八 一五	軍令により第一〇五師団工兵隊編成下令 編成完結（比島ルソン島） 捷一号作戦及び捷一号作戦参加 停 戦 終 戦
		<p>（注）終戦後米軍の収容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。</p>		

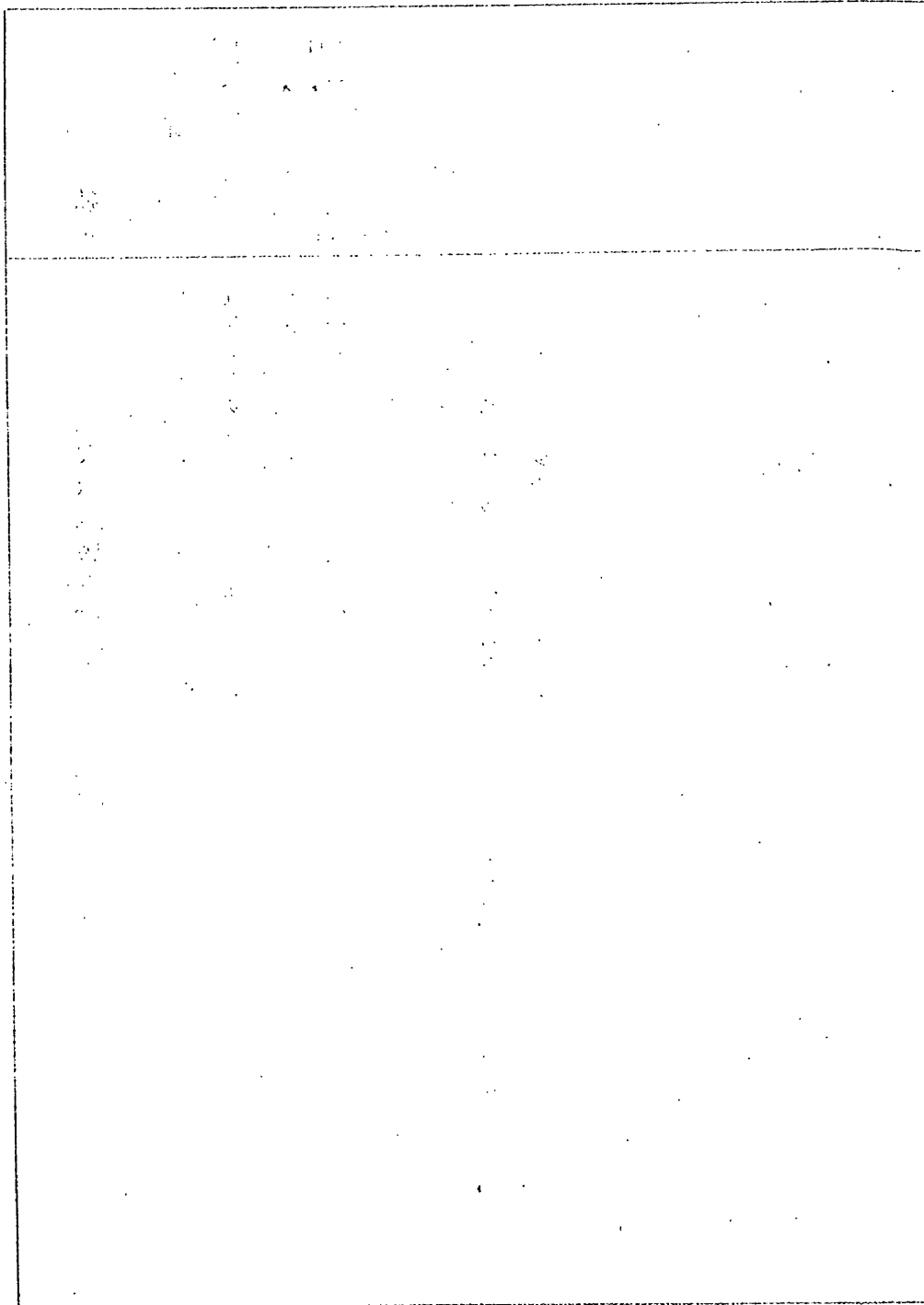
独立歩兵第三五三大隊（拠第一〇六四六部隊）

年月日	略歴
昭和一九七〇年七月	軍令により独立歩兵第三五三大隊編成下令
自一九七〇年七月	編成完結（比島マニラ）
至一九七〇年八月	捷一号作戦準備及び捷一号作戦参加
一九七〇年八月	停戦
一九七〇年九月	終戦

（注）終戦米軍の收容所に入ると同時に解隊させられ、爾後各個に復員する。

大隊長 少佐 山田藤栄





-210-

2215